

平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

<調査研究報告書タイトル>

不妊症及び不育症における相談支援体制の現状及び充実に向けた調査研究 事業報告書

<実施主体名>

株式会社キャンサーキャン

<事業報告書概要>

本事業報告書は、「1. 事業概要」、「2. 不妊に関する悩み（ニーズ調査より）」、「3. 不妊専門相談センター事業の実施実態」、「4. 自治体担当者のための不妊専門相談事業推進のための手引き」、「5. 不妊専門相談センターに関する啓発リーフレット」及び「6. おわりに」の6つのパートからなる。

「1. 事業概要」においては、本調査研究事業の目的と事業全体の構成、実施した調査の概要、6人の有識者からなる「研究会」の組織及び開催、及び事業スケジュールを示し、事業の全体像の理解を促した。

「2. 不妊に関する悩み（ニーズ調査より）」においては、「不妊で悩んだ経験のある女性を対象としたニーズ調査」（618名を対象としたインターネット調査）の結果を示し、我が国において不妊に悩む女性が妊娠・出産に向けてどのような行動を取っているのか、また、その時々における悩みの実態や、悩みを誰に相談していたのか、もっと相談したかったことはあるか、など、不妊専門相談センターの支援の対象とすべきニーズの実態を明らかにした。

「3. 不妊専門相談センター事業の実施実態」においては、全国の都道府県・指定都市・中核市を対象としたアンケート調査結果を示し、全国の自治体における不妊専門相談窓口設置の有無や窓口の形態、相談員のバックグラウンド、相談実績や主な相談内容、普及啓発の手法や相談員のスキルアップのための取組内容、不妊専門相談センター事業における課題など、相談窓口を通して支援を提供する側の事業実施の実態及び課題を明らかにした。

「4. 自治体担当者のための不妊専門相談事業推進のための手引き」においては、「2. 不妊に関する悩み（ニーズ調査より）」及び「3. 不妊専門相談センター事業の実施実態」で示した結果をもとに作成した不妊専門相談事業推進のための手引きの位置づけと使い方を示すと共に、手引きの内容を紹介した。

「5. 不妊専門相談センターに関する啓発リーフレット」においては、啓発の主なターゲットを紹介すると共に、開発したリーフレットの狙いを示し、リーフレットの紹介を行った。

「6. おわりに」においては、事業を通しての考察を実施主体の立場としてまとめた。

以上